

日立の知的財産戦略

2011年4月14日

株式会社日立製作所 知的財産権本部長

岡 謙介

Contents

- 1 経営戦略に即した知財活動の推進**
- 2 知財活動のグローバル化推進**
- 3 知財活動の注力テーマ**
- 4 環境関連技術の特許ポートフォリオ**
- 5 国際標準化の活動強化**
- 6 知財活動のめざすところ**

経営戦略のフォーカス

グローバル

融合

環境



経営戦略に即した知財活動の推進

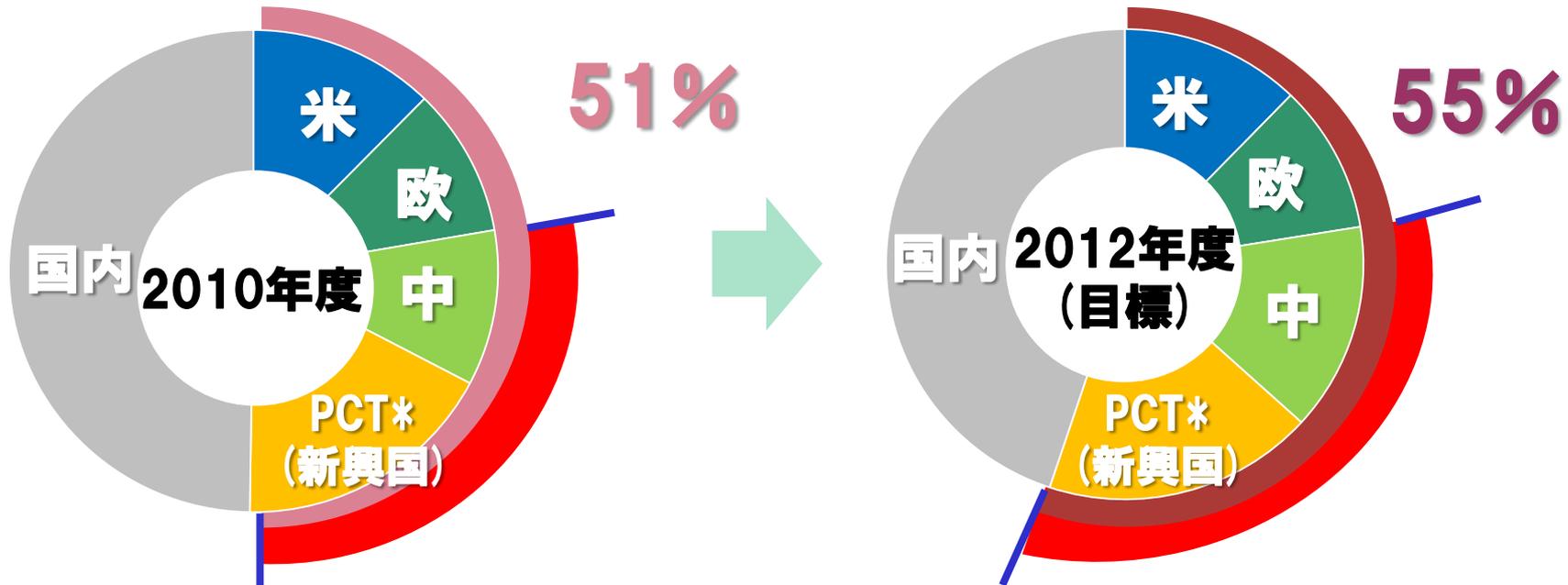
2 知財活動のグローバル化推進

グローバル

■ 2012年度 海外売上高比率 ストレッチ目標50%超

■ 2012年度 海外出願比率目標 55%

年度	2009	2010	2011目標	2012目標
日立 (海外出願比率)	47%	51%	52%	55%



➤ 中国出願及び国際特許出願(PCT出願*)(中国、アジア等 新興国市場向け)を増加

*PCT出願: 一出願で多数国に出願した効果を得られる特許出願

2 知財活動のグローバル化推進

グローバル

HITACHI
Inspire the Next

2010年 日本出願(公開)

企業Gr	公開件数
1. パナソニック	14,780
2. トヨタ	14,294
3. 日立	10,748
4. 東芝	10,325
5. 三菱電機	7,970
6. キヤノン	7,802
7. セイコーエプソン	6,706
...	
17. GE	1,136
21. Siemens	361

2010年 米国登録

企業Gr	登録件数
1. IBM	5,899
2. 三星	5,749
3. パナソニック	3,135
4. マイクロソフト	3,094
5. 日立	2,908
6. キヤノン	2,662
7. 東芝	2,554
...	
11. Siemens	1,733
15. GE	1,461
21. 三菱電機	768

2010年 中国出願(公開)

企業Gr	公開件数
1. 中興通信	5,357
2. 華為技術	3,015
3. ソニー	2,465
4. パナソニック	2,364
5. 鴻海精密工業	2,304
6. LG	2,261
...	
11. 日立	1,459
13. GE	1,202
16. Siemens	986
18. 東芝	871
21. 三菱電機	668

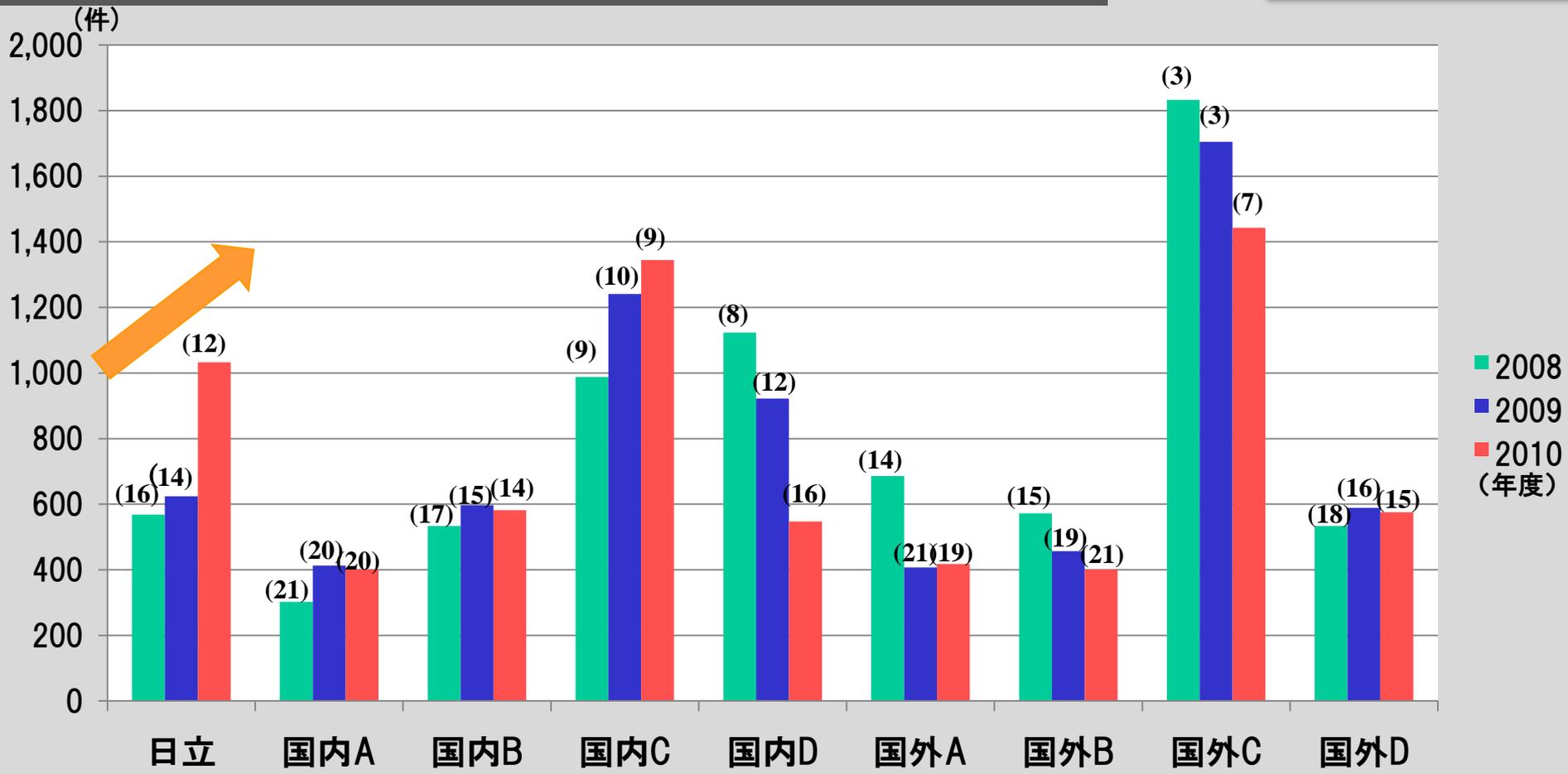
※Sharesearch, Patoliis, IFIPAT/Questel-orbit, Pat-List/CN に基づく当社調査

➤ 日米中で、主要競合他社を概ね上回る

2 知財活動のグローバル化推進

グローバル

過去3年のPCT出願(公開)件数 主要他社比較



※Shareresearchに基づく当社調査

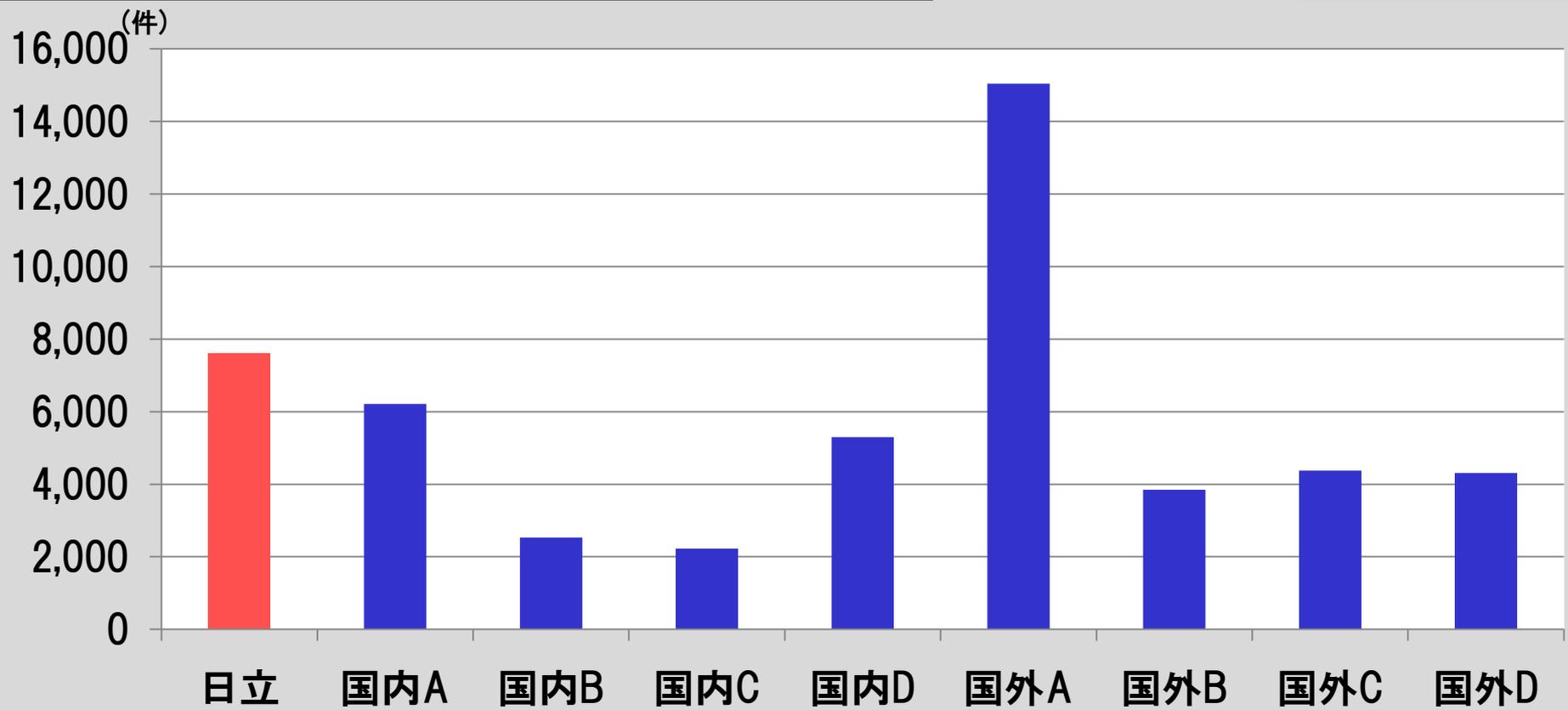
※カッコ内数はランキング

➤ 新興国市場向け出願を強化するためPCT出願を積極的に活用

2 知財活動のグローバル化推進

グローバル

米国特許登録(3年累計)主要他社比較



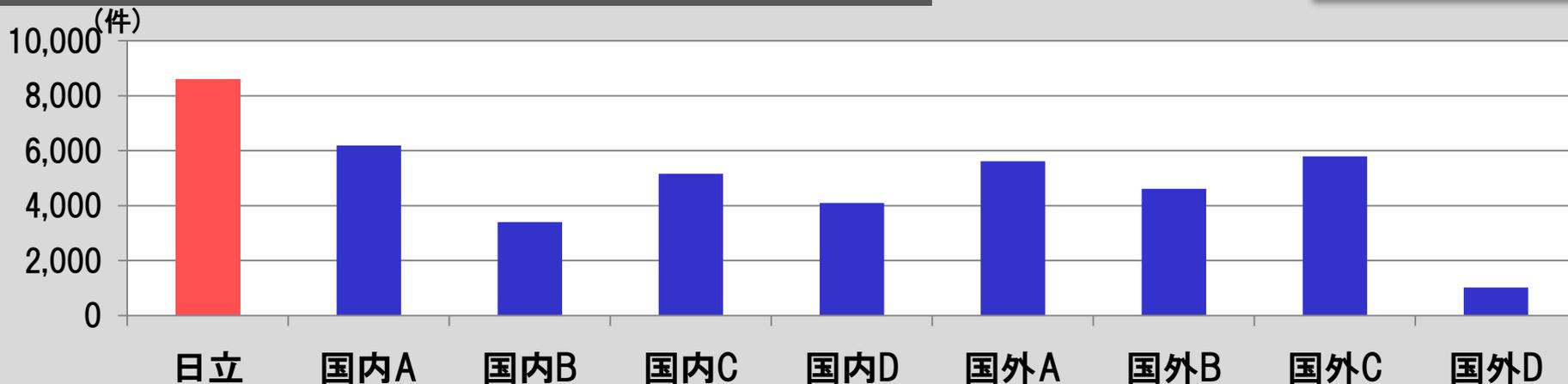
※IFIPAT/Questel-orbit に基づく当社調査

➤ 米国特許登録件数において、日米欧の競合他社と互角に渡り合う

2 知財活動のグローバル化推進

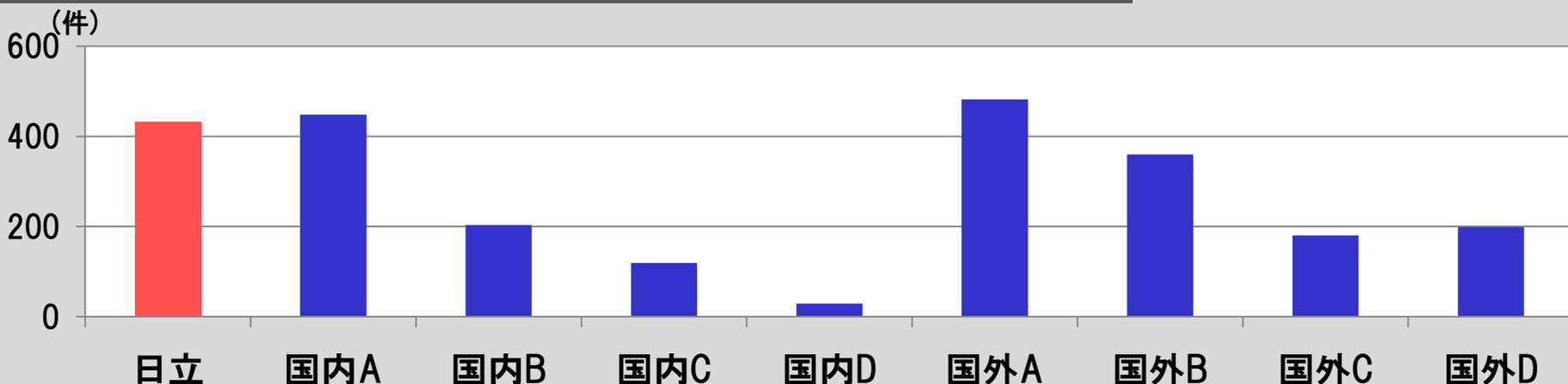
グローバル

中国特許出願(5年累計)主要他社比較



東南アジア特許出願(5年累計)主要他社比較*

*ベトナム・タイ・インドネシア・シンガポール・フィリピン特許出願の2005-2009年の累計値



※Shareresearch, PATOLIS, IFIPAT/Questel-orbit, Pat-List/CN に基づく当社調査

グローバル

■知財グローバル主要目標

各ビジネスマーケットに対応した
海外出願強化の継続

3 知財活動の注力テーマ

グローバル

融合

環境

■知財活動の注力テーマ(例)

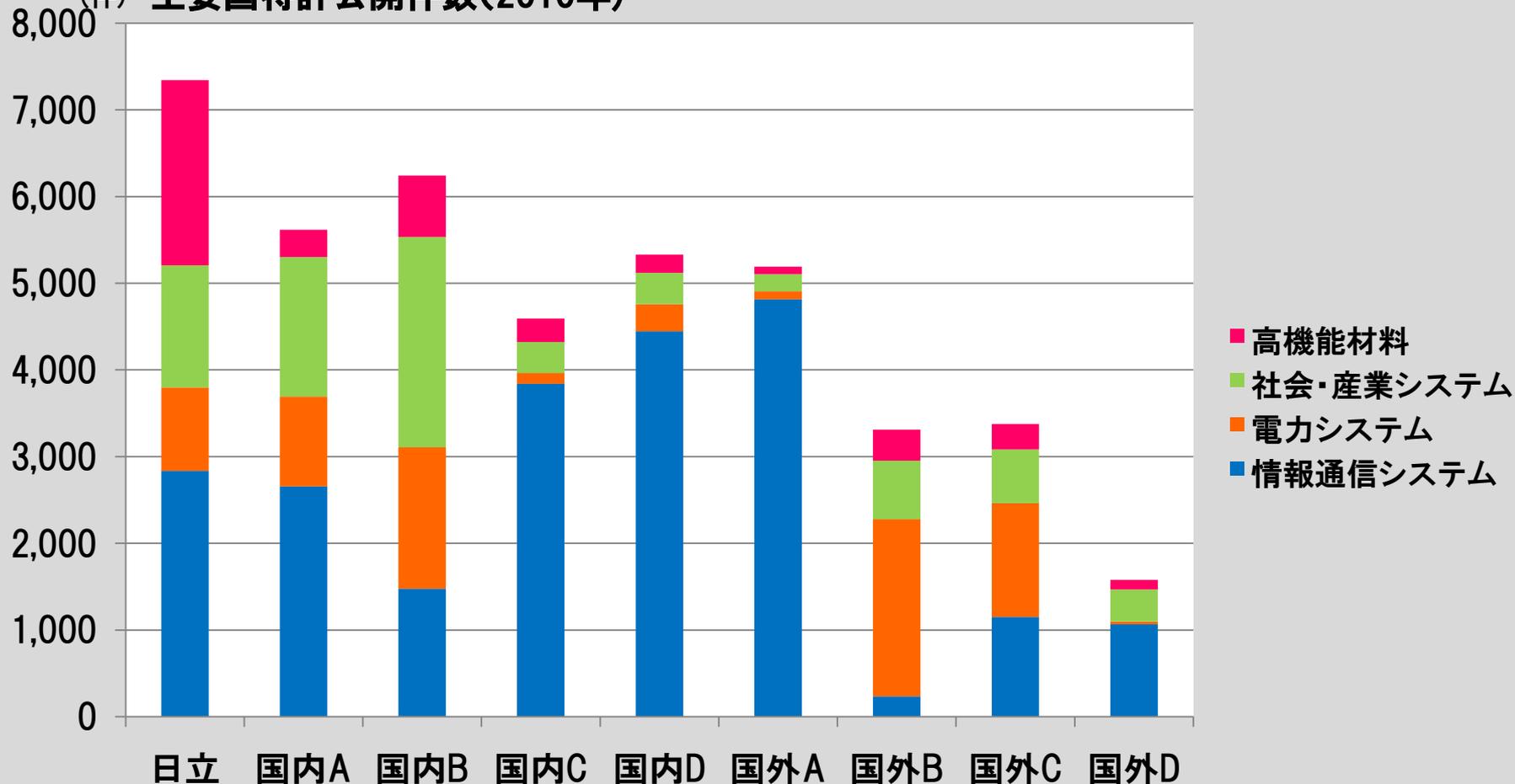
分野	注力テーマ
グローバル	ストレージシステム
	スマートグリッド
融合	社会インフラ向け情報基盤
環境	新パワーデバイス
	インバーター
	リチウムイオン電池
	グリーンモビリティ

4 環境関連技術の特許ポートフォリオ

環境

環境関連技術の特許ポートフォリオの主要他社比較

(件) 主要国特許公開件数(2010年)



※日本特許公開件数、米国特許登録件数、欧州(EPC)特許公開件数、中国特許公開件数の合計
Sharesearch、PATOLIS、IFIPAT/Questel-orbit、Pat-List/CN に基づく当社調査

5 国際標準化の活動強化

グローバル

融合

環境

➤ 日立の強みとする事業領域が拡大できる標準化をめざして活動

テーマ(例)	環境配慮型データセンタ
活動	機器間インターフェースの標準化により、日立の強みであるIT・空調連携制御の機器・システムの事業拡大

➤ 標準化団体に人財を輩出、日立のプレゼンス向上

IEC*1
副会長
研究開発本部
技師長
藤澤浩道



IEC*1
TC*2111 議長
地球環境戦略室
主管技師長
市川芳明



- ・情報規格調査会・SC*327委員長(暗号): 横浜研究所 主管研究長 宝木和夫
- ・JEITA・実装技術標準化委員長: 横浜研究所 シニアプロジェクトマネージャー 原田正英
- ・Ecma International・TC*238議長: 情報・通信システム社 主任技師 並河治

*1 IEC: 国際電気標準会議。ITU(国際電気通信連合),ISO(国際標準化機構)と並ぶ三大国際標準化機関の一つ。

*2 TC: Technical Committee (技術委員会)、*3 SC: Sub Committee (分科委員会)

6 知財活動のめざすところ

グローバル

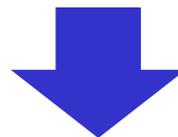
融合

環境

他社との差別化・他社への牽制、受注貢献

事業自由度の確保

特許料収入



知財活動による事業貢献の最大化

HITACHI
Inspire the Next 